

2017 (平成 29) 年度
部局 F D 活動報告

①都市教養学部 人文・社会系／人文科学研究科

活動状況	学生による授業アンケート等	人文・社会系／人文科学研究科の各教室は、それぞれ学問的な性質やアプローチの方法などが、大きく異なっている。統一したアンケートを作成することも困難を伴う上に、もし、そのようなアンケートを行っても、その結果を異なる教室間で比較対照することにも難しさがあり、効果が見込めない。そのようなことから、系／研究科全体で統一した授業評価アンケートを実施していない。一方で、各教室ごとに、少人数体制を活かし、教員と学生の密接な対話を通じて、学生からのフィードバックを受ける仕組み（曜日を決めて昼休みに共同研究室に教員学生が集い、情報交換する等）を設けて、その結果を授業の質や教育方法の改善に取り組んでいる。
	研究会・講演会・セミナー等	全学で実施されるFDセミナーや講演会への参加を促すようにした。教室によっては、定期的に授業の改善に向けた会合を行ったが、学系／研究科全体の取り組みとしての研究会や講演会などは開催されていなかったもので、今後はそのような機会を増やすようにしたい。
	委員会・会議等	12月に教授会及び学系のメーリングリストを利用し、各教室に2017年度に取り組んだFD活動について、報告を求め、いくつかの教室から回答を得た。回答を取りまとめ、フィードバックを行った。
	その他	昨年度、一昨年度は、「授業の工夫」パンフレットを製作した。各教室のFD委員を通して、専門教育科目における授業の進め方、特に授業外学習時間を増やすための方法について、取りまとめたものだ。今年度も同様の取り組みを行い、年度末までには、まとめる予定である。
今後の予定・展望	部局自体の取り組みとして、「授業の工夫」パンフレットを作成している。有意義な取り組みとして、今後も続けていきたい。また、パンフレット作成をきっかけに、教室の垣根を越えた情報交換の機会を増やし、それぞれの教室の良いところをお互いに学ぶようにしていきたい。	

②都市教養学部 法学系／社会科学研究科 法学政治学専攻

活動状況	学生による 授業アンケート等	<p>【学部】 法学系においては、通年開講の専門教育科目（16科目）を対象として、学生による授業評価アンケートを実施した。年度末までに集計結果をまとめ、各担当教員にフィードバックし、来年度以降の教育活動の改善に役立てている。 (継続的に実施中)</p> <p>【研究科】 法学政治学専攻においては、少人数のため授業評価アンケートはなじまず、実施していない。</p>
	研究会・講演会・ セミナー等	<p>【学部】 スタッフミーティングの機会を活用し、本学で発行されているFDレポートなどを教材に、FDの手法について検討を重ねている。特に法律学・政治学ではそのままでは活用しにくい手法が多いため、これをどのように消化し、取り込んでいくかに主眼を置いた検討を行っている。</p> <p>【研究科】 ＜政治学分野＞ ①毎月、教員・院生全員が参加する「政治学総合演習」を開催し、研究・教育水準の向上を図っている。 ②毎月、政治学分野の教員による「スタッフミーティング」を開催し、大学院の教育及び研究指導等に関する意見交換を行っている。 ③政治学分野に所属する全教員・院生で構成される「政治学FD会議」を開催している。政治学FD会議は、学期初の回（4月・10月）では、教員が当期の講義・演習の概要・趣旨等を説明し、意見交換を行う。これを踏まえ、学期末の回（9月・3月）では、学期初に掲げた授業目標の達成度等に関する情報交換を行うと共に、講義・演習に参加した院生との意見交換を行い、授業内容の改善に努めることとしている。</p> <p>＜法律学分野＞ ①教員・院生全員が参加する「法律学総合演習」を定期的に開催し、研究・教育水準の向上を図っている。 ②毎月、法律学分野の教員による「スタッフミーティング」を開催し、大学院の教育及び研究指導等に関する意見交換を行っている。</p>
	委員会・会議等	「法学系FD委員会」及び「大学院社会科学研究科法学政治学専攻FD委員会」（合同開催。大学院（社会科学研究科法学政治学専攻）主任、FD委員、教務委員、基礎教育部会委員で構成）を組織している。
	その他	
今後の予定・展望	<p>【学部】 ・実施した授業評価アンケートの結果を、個々の教員のレベルにおいて、自らが担当する授業や教育環境の改善に反映させていくことを再確認した。 ・法学系のFD活動のあり方に関する法学系FD委員会における議論をより活発化させるために、法律学・政治学各コースでのスタッフミーティングを活用している。 ・引き続き、各専門領域の教員間で、カリキュラムや講義のあり方について検討する機会を定期的に設け、法学系全体の教育効果の改善・充実につなげていきたい。</p> <p>【研究科】 2007年度から大学院FDの実施が求められていることを踏まえ、法律学・政治学総合演習等を中心とした自己点検・評価及びFD活動の更なる充実に向けた検討を、大学院社会科学研究科法学政治学専攻FD委員会を中心に行っている。定員充足率の向上と共に、外国人留学生が増えてきているので、これらの学生に向けたFDの在り方について、引き続き検討を行っている。</p>	

③社会科学部 法曹養成専攻

活動状況	学生による 授業アンケート等	法科大学院の教育等の改善及び充実のためのアンケート調査を、学期ごとにすべての法科大学院生を対象に実施している。このアンケート調査において、すべての授業科目について学生による授業評価を行うとともに、あわせて授業内容や方法、学習支援体制（オフィスアワーなど）、施設や設備等に対する要望等を尋ねている。授業評価のほか、授業に関する要望について当該科目の担当教員にフィードバックし、教育活動等の改善に役立っている。このアンケートで挙げられた要望等をFD会議で検討し、学習環境の改善に役立っている。
	研究会・講演会・ セミナー等	各種の団体が実施するセミナー等への参加 法科大学院教育、司法試験、第三者評価等に関して、法科大学院協会、大学改革支援・学位授与機構、日弁連等の各種団体が実施する検討会やセミナー等に参加している。
	委員会・会議等	FD会議等の実施 毎月1回、授業を担当する教員から構成されるFD会議を開催し、学生の学習状況や授業方法等についての情報の共有化を図るとともに、法科大学院における教育等についての意見交換を行っている。さらに、専門領域ごとにFDに関するミーティングを適宜開催している。 また、専任教員には、他の教員の授業を見学する義務を課し、その見学結果をFD会議において報告し、当該授業に関する見学教員の評価や問題意識をFD会議構成員間で共有する制度を運用している。
	その他	2004年度は、法科大学院設置申請に際して、文部科学省による教員審査を受けている。また、2004年11月、2005年7月に文部科学省による法科大学院設置年次計画履行状況実地調査を受け、2006年11月に、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況面接調査を受けた。さらに、2008年度、2013年度には、法定化されている大学評価・学位授与機構による法科大学院認証評価（第三者評価）を受けた。 なお、2007年度以降、法科大学院の各年度における自己点検・評価結果については、外部委員による評価を行い、年度ごとの自己評価書を公表している。
今後の予定・展望	2013年度の法科大学院認証評価の結果を踏まえ、法科大学院における教育・研究の質の向上を実現すべく、上記のような取り組みを継続する。 しかし、継続的に上記のような取り組みを実施し、法科大学院をより良いものとするために人的体制を整備する必要があることは、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況の面接委員、法科大学院認証評価結果等において指摘されているところである。したがって、今後も、優秀な教員を採用するための人事枠・制度の拡充、正規雇用職員の増員を中心とする事務体制の整備、これらを可能にする予算措置を至急講じなければ、適正な法科大学院の運営はきわめて困難である。今後も法科大学院認証評価（第三者評価）を受ける上で、管理課長が週に一度（5時間程）しかいない現在の事務体制の強化が必須である。	

④都市教養学部 経営学系／社会科学部 経営学専攻

活動状況	学生による 授業アンケート等	<p>前期・後期それぞれにおいて以下の概要で授業アンケートを実施した。</p> <p>【学部】前期は2017年6月5日から23日に前期開講の42科目、後期は2017年11月6日から24日に新規・再開の8科目を対象として行った。回答はWEB形式で行い、回答率はそれぞれ、前期28.7%（履修者が計5,601名に対して回答者は計1,606名）、後期19.6%（履修者が計1,091名に対して回答者は計214名）であった。</p> <p>【研究科】前期は2017年6月5日から24日に前期開講の17科目、後期は2017年11月2日から27日に後期開講の20科目を対象として行った。回答はWEB形式で行い、回答率はそれぞれ、前期46.5%（履修者が計312名に対して回答者は計145名）、後期53.9%（履修者が計245名に対して回答者は計132名）であった。</p> <p>アンケート結果は、前期、後期ともに、アンケート実施後に担当教員にフィードバックし、教員の授業改善に努めている。また、アンケート結果を授業内で学生にフィードバックすることを通じて、学生の学習意欲の向上にも努めている。</p>
	研究会・講演会・ セミナー等	<p>6月のFD・SDセミナーならびに11月のFDセミナーへの参加を呼びかけた。6月のFD・SDセミナーでは本学系FD委員が司会進行役を務めた。また、FD活動の一環として、2017年12月12日に、早稲田大学での「ファカルティカフェ」に参加、ワシントン大学へFD研修派遣に行かれた先生の報告を聴講した。</p>
	委員会・会議等	<p>部局内で委員会・会議などは特に開催されなかった。</p>
	その他	<p>体系的な学習の促進を目指して学生に複数の「学習モデル」を提示しているが、その見直し作業を行っている。また、学生が学修の達成度を確認できる「学修ポートフォリオ」の設計を行っている。</p>
今後の予定・展望	<p>引き続き、授業アンケート、学習モデル、また、現在設計中である学修ポートフォリオを通じて、学生に対して自発的・能動的な学習を促す努力を継続する予定である。授業アンケートでは、履修者が1名などの極端に少ない講義では個人が特定できてしまいよくないのではないかという意見をいただいた。今後の課題である。</p>	

⑤都市教養学部 理工学系／理工学研究科

活動状況	学生による授業アンケート等	<p>【学部アンケート】 (1) 理工学系6コースのすべての専門教育科目に対して、前期（7月）と後期（1～2月）に、「授業改善のためのアンケート（学生用）」調査を実施した。質問項目については、年変化を追跡できるように例年通りとした。自由記述式の設問は全学アンケートに準じている。また、授業担当者が設問できる問いを積極的に利用してもらおうよう、前期・後期とも「質問例集」を作成し、授業担当者に配布した。 (2) 昨年度後期分の学生アンケートの集計結果を6月に、今年度前期分の学生アンケートの集計結果を10月に、それぞれ各教員へ返却した。学生による自由記述については、原文のまま各授業担当者に返却した。その際、差別用語を含むなど不適切な回答内容については、回答の意図を損なわない程度に不適切箇所のみ削除して授業担当者に開示することとした。アンケート結果のうち、数値化されている回答に関しては、理工FD委員会において今後の課題や授業改善の到達状況について議論した。 (3) 授業担当者に対しては、「理工学系専門教育科目に関する授業改善アンケート」を、秋に実施し、それらの回答を集計して、教室環境改善などの整備を行った。</p> <p>【大学院アンケート】 理工学研究科を構成する6専攻において、各専攻ごとの特色も勘案しながら、専攻が個別に大学院生に対するアンケート調査などを行い、毎月開催される理工学系・理工学研究科FD委員会でその結果について議論した。大学院生の場合、授業を受講する時間より、研究室で研究活動に費やす時間が圧倒的に多いことを考慮して、大学院講義に対する評価に加え、研究に対する満足度、研究環境、研究・勉学へのサポート体制に対する要望収集も質問項目に含められている。FD委員会のみでは改善が困難な場合は、適宜、教務委員（大学院担当）、専攻長などとも相談し、改善を図っている。</p>																														
	研究会・講演会・セミナー等	<p>毎月（8月と2月を除く）、理工学系・理工学研究科FD委員会を開催し、各コース・専攻におけるFD活動の報告と意見交換を行うとともに、授業アンケートの方法、成績評価基準、セミナー実施、授業改善と研究環境改善に関する施策など、理工学系・理工学研究科FD委員会として検討すべき事項について議論を行った。また、大学再編に伴う委員会の新しい形についても議論した。 大学院生向けのFD活動「STA・TA研修」では、理工学研究科からも大学院生が参加し、学部生を対象にした実習・演習・講義補助などに積極的に参画・貢献する為の考え方、方法を実践するトレーニングを実施した。</p>																														
	委員会・会議等	<p>理工学系・理学研究科FD委員会を以下の日程で開催している。</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>4月14日</td> <td>前年度後期理工授業アンケートの結果、今年度理工授業アンケートについて</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>5月19日</td> <td>理工授業アンケート、再編後の理工FD委員会について</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>6月13日</td> <td>(メール審議) 成績分布表の扱いについて</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>7月21日</td> <td>前年度後期成績分布、今後の成績分布表作成、再編後の理工FD委員会について</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>9月15日</td> <td>理工授業アンケートについて</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>10月13日</td> <td>(メール審議) 卒業時アンケートについて</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>11月15日</td> <td>FDセミナー周知、教員アンケートの集計結果、前期成績分布表について</td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>12月20日</td> <td>(メール審議) 卒業時アンケートについて</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>1月17日</td> <td>卒業時アンケートについて、再編後の委員会運営について</td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>3月</td> <td>未定</td> </tr> </table>	第1回	4月14日	前年度後期理工授業アンケートの結果、今年度理工授業アンケートについて	第2回	5月19日	理工授業アンケート、再編後の理工FD委員会について	第3回	6月13日	(メール審議) 成績分布表の扱いについて	第4回	7月21日	前年度後期成績分布、今後の成績分布表作成、再編後の理工FD委員会について	第5回	9月15日	理工授業アンケートについて	第6回	10月13日	(メール審議) 卒業時アンケートについて	第7回	11月15日	FDセミナー周知、教員アンケートの集計結果、前期成績分布表について	第8回	12月20日	(メール審議) 卒業時アンケートについて	第9回	1月17日	卒業時アンケートについて、再編後の委員会運営について	第10回	3月	未定
	第1回	4月14日	前年度後期理工授業アンケートの結果、今年度理工授業アンケートについて																													
第2回	5月19日	理工授業アンケート、再編後の理工FD委員会について																														
第3回	6月13日	(メール審議) 成績分布表の扱いについて																														
第4回	7月21日	前年度後期成績分布、今後の成績分布表作成、再編後の理工FD委員会について																														
第5回	9月15日	理工授業アンケートについて																														
第6回	10月13日	(メール審議) 卒業時アンケートについて																														
第7回	11月15日	FDセミナー周知、教員アンケートの集計結果、前期成績分布表について																														
第8回	12月20日	(メール審議) 卒業時アンケートについて																														
第9回	1月17日	卒業時アンケートについて、再編後の委員会運営について																														
第10回	3月	未定																														
その他	特になし。																															

今後の予定・展望

平成30年度以降、理工学系は2コースがシステムデザイン学部（SD）に統合され、4コースは理学部に所属する。理工学系FD委員会は、理学部FD委員会となるが、理工学系の在学生に対する教育環境の向上についてはSDに統合されるコースからもオブザーバを出してもらい、理学部FD委員会の中で議論を進める予定である。学部については、新たにSDの科目に変わるものを除き、専門科目について学生による授業改善のためのアンケートを今後も実施し、今後の更なる改善点を検討する。大学院の授業改善については、それぞれの専門課程における授業の特殊性も考慮して、各専攻ごとに改善に取り組んでいく。今後も引き続き旧理工学系の学生と新理学部の学生の両方を対象として学部・研究科合同のFD部会を定期的で開催し、全学FD委員会との連携、FDの共通認識の形成、具体的取り組みの実施検討を行う。

⑥都市環境学部／都市環境科学研究科

活動状況	学生による授業アンケート等	<p>非常勤講師担当科目、実験・演習などの科目、受講者数が10名程度以下の科目これらを除く今年度開講科目について、前期、平成29年7月10日(月)～7月24日(月)の期間にアンケートを行った。アンケートの実施・回収状況は、以下のとおりである。学部授業に関して、対象科目数 55、返却科目数 51(回収率92.7%)、履修登録者 2499、回答者数 1864(回答率74.6%)だった。教員アンケートは、対象教員数(延べ人数) 75、返却教員数 72(回収率96.0%)だった。大学院授業に関して、対象科目数 13、返却科目数 12(回収率92.3%)、履修登録者 233、回答者数164(回答率70.4%)だった。教員アンケートは、対象教員数(延べ人数) 16、返却教員数 15(回収率75.7%)だった。</p> <p>後期については、新たに実験・演習などの科目を加え、平成30年1月5日(金)～1月22日(月)の期間にアンケートを行った。結果の集計は、この報告書の提出時では出していない。</p>
	研究会・講演会・セミナー等	<p>全学で実施するFD・SDセミナー、FDセミナー、アクティブラーニング手法紹介セミナーに参加し、授業改善に向けた理解を深めた。</p> <p>研究科単位での研究会は開催されなかったため次年度以降の課題としたい。</p>
	委員会・会議等	<p>都市環境学部・都市環境科学研究科FD委員会を合計2回開催した。開催日時及び内容は以下のとおりである。</p> <p>第1回：平成29年5月23日、平成28年度後期におけるFDアンケート集計結果報告について、平成29年度前期FDアンケートの実施について、全学FDセミナー。</p> <p>第2回：平成29年12月1日、平成29年度前期におけるFDアンケート集計結果報告について、平成29年度後期FDアンケートの実施について、次年度以降の取り組みについて。</p>
	その他	<p>日本語を母国語としない教員用のアンケートを作成した。</p> <p>アンケートの教員へのフィードバックに関しては以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 個々の科目データについては、自由記述のフィルタリング後、主担当教員へ配信。 2 今回のデータ並びに自由記述については、都市環境FD委員会にて共有。
今後の予定・展望	<p>学生による授業評価・教員による授業評価結果を次年度の授業に活用することによって、改善に取り組んでいく。アクティブラーニングについても積極的に取り組む。</p>	

⑦システムデザイン学部／システムデザイン研究科

活動状況	学生による 授業アンケート等	システムデザイン学部では、前期開講科目について、学生による授業改善アンケートを2017年7月3日から8月11日に実施した。学部では、対象授業科目数83のうち64科目からの回答があり、大学院では、対象授業科目数44のうち36科目からの回答があった。また、後期開講科目については2018年1月5日から2月2日に実施した。昨年度より、演習、実験科目、集中講義科目に対するアンケートも、授業担当教員の希望を募って実施している。
	研究会・講演会・ セミナー等	T A初任者研修（日野キャンパス会場）が4月25日（火）に開催され、システムデザイン研究科学生の出席者は45名、ワークショップにも積極的な参加が見られた。一方、10月31日（火）のS T A・T A研修は、テレビ会議システムが学生には馴染みが薄いのか、日野会場での参加者は0人に終わったことは、今後反省と検討を要する。テレビ会議システムは移動時間のない教員には活用されている。6月22日（木）開催の首都大学東京F D・S Dセミナー「教職協働による大学改革の推進～ビジョンからアクションへ～」及び、11月30日（木）開催の首都大学東京F Dセミナー「反転授業とeラーニング教材の活用」は、日野キャンパス会場へテレビ中継を行い、それぞれ教職員の参加者に重宝された。また、全学F D委員会主催のセミナー等については、教授会での案内の他、e-mail及びシステムデザイン学部F D委員を通して、参加を強く働きかけた。
	委員会・会議等	システムデザイン学部F D部会を、4月14日、6月2日、12月14日に開催し、授業改善アンケートの実施方法の検討及びアンケート結果の考察などを行うとともに、適宜メール審議を実施することにより効率を高めた。なお、システムデザイン学部では、大学院教務委員会とシステムデザイン学部F D部会は兼任のため、毎月の大学院教務委員会実施時に全学F D委員会の報告などをあわせて行うことにしている。
	その他	学生による授業改善アンケートの結果を科目ごとにまとめ、各授業担当教員にフィードバックを行うとともに、システムデザイン学部・研究科F Dニュースとしてホームページ上に公開することで、周知を行い、学生と教員がともにF D活動について知り、理解を深める中で恒常的に授業改善が行われるよう努めた。7月10～24日に行われた「アクティブラーニング実施状況アンケート」において対象教員に協力を働きかけた。
今後の予定・展望	今後も引き続き、学部・研究科合同のF D部会を定期的に行い、全学F D委員会との連携、F Dの共通認識の形成、具体的取組の実施検討を行う。システムデザイン学部実施の授業評価アンケートについて、アンケートの質問項目の削減を含めた再検討や個々の教員の授業改善へつなげていくための方策などを検討したい。来年度への申し送り事項として、日野会場でのT A初任者研修などの実施時間帯を授業の無い夕方時間帯にて開催することとした。	

⑧健康福祉学部／人間健康科学研究科

活動状況	学生による授業アンケート等	健康福祉学部で前期・後期に開講された科目について学生による授業改善アンケートを実施し、集計結果を授業担当教員にフィードバックした。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施対象科目数：前期138、後期151、通年4 ・回答科目数：前期111（回答率：80.4%）、後期及び通年は集計中
	研究会・講演会・セミナー等	FD委員会主催のFDセミナー等を教授会やメールにより広く周知し参加を促している。 また、健康福祉学部・人間健康科学研究科主催のFDセミナーを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成30年2月5日（月）16：20～17：50 ・場所：荒川キャンパス 大視覚室 ・テーマ：「医療従事者・大学教員が知っておきたいLGBTに関する最新知識」 ・講師：松尾かずな氏（名古屋大学医学部附属病院泌尿器科 病院助教） ・参加者数：教員16名、職員12名
	委員会・会議等	健康福祉学部・人間健康科学研究科FD委員会部会を定期的に行なっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回：平成29年7月4日（火） ・第2回：平成29年10月19日（木） ・第3回：平成29年3月13日（火）
	その他	特になし
今後の予定・展望	本学部に隣接する学問分野から学習者への視点・学習者と共鳴する学習論をFDセミナーのテーマとして企画予定。	